

係	専門員	係長	主査	主幹	局長	副議長	議長

別記様式3

令和7年6月16日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

リベラル 阿部寛

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

期 日	令和7年7月15日 ~ 令和7年7月16日
参加者氏名	阿部寛 本間信一
場所・会場	東京・リファレンス西新宿大京ビル
調査・研修項目（目的）	研修、講師 井原雄人、内容 ①「交通空白」と地域交通の役割② ②ライドシェアと自動運転の基礎と課題① ③交通崩壊と解決策としての地域公共交通への投資②
交通手段	自家用車・JR・飛行機
行 程	自宅～自家用車で庄内空港午前8時55分発～羽田空港午前10時着 ～電車～研修会場、(研修1時30分～16時)～宿泊会場 (ヴァアイン新宿) 宿泊会場～電車～研修会場(研修午前10時～12時30分)(研修午後1時30分～16時)電車～羽田空港20時15分発～庄内空港着 21時15分～自家用車で自宅



「地域の足」が無くなる？ 交通空白解消セミナー

東京

～地域からバス、電車、タクシーが無くなる？
今地方議員が取り組むべき課題～

6月発表の骨太の方針2025
「交通空白」解消本部設置
により最新リニューアル

7/15
火

8/4
月

9/29
月

10:00～12:30

「交通空白」と 地域公共交通の役割①

- ・用語の定義で役所に騙されるな
- ・人口減少と高齢化を数値で確認
- ・地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- ・地域公共交通による地域の足対策と観光の足対策
- ・人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

7/15
火

8/4
月

9/29
月

13:30～16:00

「交通空白」と 地域公共交通の役割②

- ・地域交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

7/16
水

8/5
火

9/30
火

10:00～12:30

ライドシェアと 自動運転の基礎と課題

- ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- ・日本版ライドシェアの全国展開？
- ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー、コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- ・自動運転ロードマップ
- ・DXG新しいモビリティサービス

7/16
水

8/5
火

9/30
火

13:30～16:00

交通崩壊の解決策としての 地域公共交通への投資

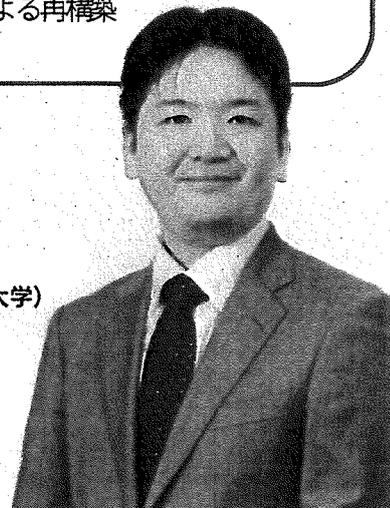
- ・交通崩壊は既に始まっている
- ・ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- ・交通税導入の検討と財源策
- ・地域公共交通の利便性向上と利用促進
- ・地域公共交通への投資による再構築

講師

井原 雄人
いはら ゆうと

早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授、
合同会社ビジュアライト 共同代表、
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。博士（学術・早稲田大学）

大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、
電動バスや燃料電池車両の開発から、それらを活用した地域
公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。



FAX : 050-6868-9679

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。

【受講確認書】に従い、事前に口座へのお振込みください。



メール申し込み

mail@chihogiken.or.jp



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、参加される講座をお選びいただき、チェックを入れてFAXで050-6868-9679宛にお送りください。

7/15 (火)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 「交通空白」と地域公共交通の役割①	13:30~16:00 <input checked="" type="checkbox"/> 「交通空白」と地域公共交通の役割②
8/4 (月)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 「交通空白」と地域公共交通の役割①	13:30~16:00 <input type="checkbox"/> 「交通空白」と地域公共交通の役割②
9/29 (月)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 「交通空白」と地域公共交通の役割①	13:30~16:00 <input type="checkbox"/> 「交通空白」と地域公共交通の役割②

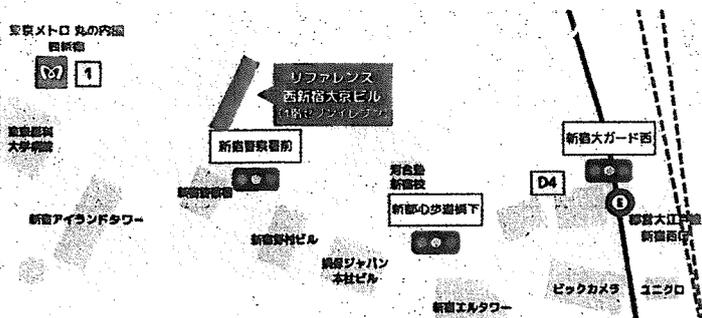
7/16 (水)	10:00~12:30 <input checked="" type="checkbox"/> ライドシェアと自動運転の基礎と課題	13:30~16:00 <input checked="" type="checkbox"/> 交通前線の解決策としての地域公共交通への投資
8/5 (火)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> ライドシェアと自動運転の基礎と課題	13:30~16:00 <input type="checkbox"/> 交通前線の解決策としての地域公共交通への投資
9/30 (火)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> ライドシェアと自動運転の基礎と課題	13:30~16:00 <input type="checkbox"/> 交通前線の解決策としての地域公共交通への投資

開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

フリガナ <u>本間 信一</u>	貴議会名 <u>新岡市議会</u> (4 期目)
お名前 <u>本間 信一</u>	FAX番号 <u>[REDACTED]</u>
電話番号 <u>(0) -</u>	
メールアドレス	
領収書のご宛名 <u>本間 信一</u>	
<input type="checkbox"/> 当日不参加 (資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 郵送サービスご希望の方はチェックしてください 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。	
郵送先住所 <u>〒 -</u> ※郵送ご希望の方はご記入ください	

東京会場 リファレンス西新宿大京ビル2階

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3



東京メトロ丸の内線【西新宿】駅 1番出口 徒歩1分
都営大江戸線【新宿西口】駅 D4出口 徒歩8分

受講料

1講座 15,000円

※チェックボックス1つにつき15,000円です。

受講料は【受講確認書】到着後、事前のお振込みをお願いいたします。

※キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

お問合せ

TEL 050-6868-9678

FAX 050-6868-9679

メール mail@chihogiken.or.jp

住所 〒530-0001

地方議員研究会

下記QRコードよりHPへアクセスできます。



係	専門員	係長	主査	主幹	局長	副議長	議長
	●●	●	●●●	●	●	●	●

別記様式4

令和7年7月30日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

リベラル 阿部寛

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

期 日	令和7年7月15日 ～ 令和7年7月16日
参加者氏名	阿部寛・本間信一
場所・会場	東京都・リファレンス西新宿大京ビル
調査・研修項目（目的）	研修、講師 井原雄人、内容①「交通空白」と地域交通の役割② ②ライドシェアと自動運転の基礎と課題① ③交通崩壊と解決策としての地域公共交通への投資②
調査・研修の内容及び見所	<p>●地域公共交通関連の法制度の変遷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後～高度経済成長期 <u>利用者が増えていた時代</u> ・ 1987年：国鉄の分割民営化 ・ 2000年：鉄道、旅客船、貸切バスの規制緩和 ・ 2002年：乗合バス・タクシーの規制緩和 <u>自動車の普及で利用者が減り始めた→自動車と競争してた時代</u> ・ 2007年：地域公共交通総合連携計画 ・ 2013年：交通政策基本法の施行 ・ 2014年：地域公共交通網形成計画 ・ 2020年：地域公共交通法の改正（輸送資源の総動員、独禁法の適用除外） ・ 2023年：地域公共交通法の改正（地域公共交通のリ・デザイン） <p><u>競争どころではなくなった時代</u></p> <p>自治体・事業者・地域が一体となり公共交通の活性化・再生に取り組む</p>



●地域に合わせた交通サービスの組み合わせが重要

- ・公共交通空白地域 コミュニティバス・乗合タクシーの運行
- ・中山間部 自家用有償旅客運送・互助輸送の導入
- ・郊外部 デマンド運行への転換
- ・中心市街地 循環運行等間隔運行・ゾーン運賃

② ライドシェアについて

○道路運送法による分類

- ・緑ナンバー 路線バス、高速バス、コミバス、乗合タクシー
- ・白ナンバー *市町村・NPO、自治会等の自家用有償旅客運送(公共ライドシェア)
*タクシー事業者 日本版ライドシェア

○自家用有償旅客運送の現状

路線バスの撤退による公共交通空白地域の拡大により、団体数(585市町村、181NPO等)・車両ともに増加しているが利用者数は少なく収支率は低い(市町村からの補填が大きい)

○デマンド交通について

- ・区域運行型 決められた区域の停留所間をデマンドに応じて運行
*三条市の事例 コミュニティバスの料金が高いためデマンドタクシーに変更した。
- ・全市域をデマンドタクシーに変更、半径300mに停留所
*一日400人の利用があるが81%が一人乗車。相乗を促進するため複数乗車時の割引を実施
*市中心部でAIデマンドシステムを導入
結果：自治体の負担削減を目標においたが、利便性が高まり利用者が増加したことにより負担は増加した。

●目的に合わせた輸送手段の選択：高齢者のDtODの移動のために

- *事業者協力型自家用有償旅客運送 交通事業者が委託やNPO等の構成員となり、運行管理や車両整備を行う
- *共同輸送 タクシーが配車困難な場合に自家用有償旅客運送車両を配車し、運賃の差額を協力金としてサービス向上に使用する

③について

●目に見える崩壊は始まっている

- コロナに大幅な利用減、回復しきらない需要
- 赤字だった交通事業者にとっては、各種補助金をもらっても車両を維持し続けることすら困難
- 従来からの運転手不足に加え、需要の増加する貨物運送に人材の流出
- 2024年問題(労働時間の制限)により、補助金や車両があっても運行することが出来ない。

